

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本年は関東大震災100年という節目の年であることをご存じでしょうか。

日本は地震大国と言われており、関東大震災はプレート間地震であるとともに南関東地方では直下型の地震となり、地震後に発生した火災も影響し、多くの人命が失われました。災害時の被害を減少させるため、行政が行う「公助」と併せ、市民の皆さんが災害に備える「自助」、地域で助け合う「共助」が大切であることは言うまでもありません。

本市は国の進める国土強靱化を推進しますが、市民の皆さんにおかれましては、この機会に「地域の絆」「家族の絆」と言った「人と人とのつながり」の重要性を再認識して頂き、防災の重要性について理解を深めていただければと考えます。



### 【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ  
平成21年5月～さいたま市長  
昨年5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会副会長も務める

## 令和6年度国の施策・予算に対する提案・要望を実施



6月21日、さいたま市関係国会議員の皆さまにご参加を頂き、義務教育施設等の改修等の促進、部活動地域移行への財政的支援、埼玉高速鉄道線（地下鉄7号線）延伸の早期実現に向けた支援、防災に向けた支援、核都市広域幹線道路の計画の

具体化、国土強靱化の推進に係る予算確保について私から説明をしました。会場では貴重な御意見や御助言を皆さまから頂いたところです。今後も、国会議員の皆さまや関係府省庁と密接に連携しつつ、本市の施策の推進に努めてまいります。

## 加藤勝信厚生労働大臣へ要望を実施

6月28日、清水勇人市長が九都県市首脳を代表して、加藤勝信厚生労働大臣へ面会しました。その際、統一的な子どもの医療費助成制度の創設、国と地方自治体による協議の場を設け、共同で議論することなどについて、要望活動を行いました。

